

13. 数学会のジャーナルの電子化について

***Euclid 上の JMSJ** この会報が会員の皆様の手に届くころには、JMSJ の 58 巻と 57 巻の全ての号が Project Euclid 上に掲載されている予定です。JMSJ 58 巻が現在オープン・アクセスとなっておりますが、2007 年初頭には、5 年経過の号のみがオープン・アクセスとなるようにアクセス制御の設定を変更する予定です。

また会員の皆様には、Project Euclid 上で JMSJ の最近号にアクセスできるように、10 月中旬以降に Subscriber Code をお送りいたします。これについては、設定方法の詳細が 90 ページに掲載されております。

Project Euclid 上での JMSJ の電子版を公開するにあたって、国立情報学研究所 (NII) の SPARC 事業から援助を頂いておりますことを、会員の皆様にお知らせいたします。

***JST の Journal@rchive による JMSJ の電子化** 独立行政法人科学技術振興機構 (JST) の Journal@rchive 事業の援助のもとに、JMSJ の第 1 巻から第 57 巻までの電子化が進行中です。10 月 5 日現在、第 1 巻から第 26 巻が公開されております。

Journal@rchive 事業による電子化に関しては、引用文献などに一部不具合があることを出版委員会で把握しております。これにつきましては、段階をふんで、修正につとめて参ります。そして、修正が済んだ時点で、Project Euclid 上に第 1 巻以降全ての号を掲載する予定です。

また、カレントの 58 巻以降の号についても、JST の J-Stage に掲載していくように準備中です。

***Japanese Journal of Mathematics, New Series の電子化** この度、Japanese Journal of Mathematics, New Series が、JST の Journal@rchive 事業の 2006 年度選定誌に採択されましたことをご報告いたします。2007 年度中には、全ての号

の電子化が完了するように、鋭意努力いたします。

***ワークショップ「日本の数学文献の電子化について III」** 大阪市立大学における秋季総合分科会におきまして、標記のワークショップを下記の次第で開催しました。このワークショップは、会員の皆様に、日本の数学文献の電子化の現状とその方向性を説明することを目的としております。

記

日時：2006 年 9 月 21 日 18:00-20:00

場所：大阪市立大学杉本キャンパス

全学共通教育棟 4 階 840 教室

18:00-18:30 戸瀬信之（慶應経済）

「JMSJ の電子化と数学会の取り組み」

18:30-19:00 行木孝夫（北大理）

「北大での数学関係ジャーナル購読状況調査について」

19:00-19:30 小山憲司（予定、国立情報学研究所 開発・事業部コンテンツ課）

「SPARC/Japan と NII の事業」

19:30-20:00 ディスカッション

以上

（出版委員会委員 戸瀬信之記）